

公開セミナー「資源管理と3R－持続可能なアジアへ向けて－」の概要

1. 目的 我が国が主導してきた3Rイニシアティブ（※1）の一環として、経済発展著しいアジア各国における3Rを通じた循環型社会の構築や持続可能な資源管理に関して、各界の関係者の共通理解を深めることを目的とする。

2. 主催者 日本国環境省、国連環境計画（UNEP）、アジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）（※2）

3. 日時 2009年3月11日（水）13:30-17:30

4. 場所 三田共用会議所（東京）

5. 内容（予定） UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」（※1）において優先テーマとして科学的知見のとりまとめが進められている「持続可能な発展に向けた経済発展と環境悪化のデカップリング（切り離し）」、「製品と資源の優先順位付け」、「金属資源とリサイクル」、「バイオ燃料等のバイオマス利用強化」などに関する同パネルでの検討成果を紹介する。また、APFEDでの3Rに関する取組の成果をはじめとするアジア各国の資源管理、3R、廃棄物対策に関する課題についての発表と討議も併せて行う。

6. 使用言語 英語（日本語による同時通訳あり）

7. プログラム（予定）

13:30

開会

13:30-14:10

基調講演（川口順子 APFED 議長、ヴァイツゼッカー UNEP 資源パネル共同議長）

14:10-16:00

セッション1：アジアの経済成長と持続可能な資源管理

アジアにおける金属リサイクル、バイオ燃料開発利用の状況、持続可能な資源管理に向けた UNEP 資源パネルの活動やアジアにおける取組事例等を紹介し、アジアにおける経済成長と資源の持続可能な開発・利用の両立に向けた取組の方向性を明らかにする。

（発表予定者）

国連環境計画（UNEP）、欧州委員会（EC）、UNEP 資源パネルメンバー等

16:00-16:15

休憩

16:15-17:30

セッション2：アジアにおける3Rの戦略的实施（パネルディスカッション）

アジア諸国における3R 国家戦略の策定状況、3R や資源効率に関する政策や国際協力の推進状況等を紹介し、アジアにおいて3R を具体的な政策や事実として実施していくための協力のあり方議論する。

（パネリスト）

国連環境計画（UNEP）、アジア開発銀行（ADB）、環境省等

17:30

閉会

※講演・発表者、パネリスト等は都合により変更される可能性があります。

※1 「3R イニシアティブ」

グローバルな観点から廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を通じて循環型社会の構築を国際的に推進する G8 を中心とした取組。

2004 年米国シーアイランドで開催された G8 サミットにおいて、当時の小泉総理の提唱により首脳間で合意したものの。

※2 「アジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）」

アジア太平洋地域にふさわしい持続可能な発展のモデルを検討・提示することを目的とした有識者フォーラム。議長：川口順子元外務大臣/環境大臣。メンバーはアジア太平洋地域の著名な政治家、専門家を中心に 23 名。

※3 「国連環境計画（UNEP）持続可能な資源管理に関する国際パネル」

2007年にUNEPが世界の著名科学者等約20名をメンバーとして設立。地球規模での経済活動の拡大に伴い、国際社会の大きな課題となっている天然資源の持続可能な利用の確保に向けて、資源の利用による環境影響について独立した科学的知見を提供するとともに、環境影響を低減するための方策の理解を促進することを目指している。